

～男女共同参画社会に向けて～

# D<sup>ドゥマーン</sup>emain

※Demainはフランス語で“明日”という意味です。

性犯罪

ハラスメント

# 暴力

売買春

ストーカー

DV

女らしさ…  
男らしさ…  
国籍…年齢…

大したことない…  
暴力を振られる  
方も悪い…

上下関係  
勝ち負け

見ないふり  
気付かないふり



このような考えがある限り、暴力はなくなりません。  
あなたにも心当たりはありませんか…

暴力は加害者に責任があることは間違いありませんが、個人に責任を負わせることだけでは、根本的な解決にはつながりません。ひとりひとりが意識を高めることで、「加害者の暴力を容認する社会」を変えていく必要があります。

毎年11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動期間」です

vol.45

2017.11

# 性の多様化について考えよう

## みんなおんなじにんげんだ

女性を好きになる自分はおかしいのかもしれない。中学の頃に悩みはじめ、男性を好きになる努力もしてみた。だけど女性を好きになることは変わらなかった。カミングアウトまでの葛藤や、家族に理解してもらったまでの長かった道のり。おだやかな話し方とやわらかい雰囲気からはそんな人生を全く感じさせない。彼女と話していると男性や女性、健常者や障がい者ではなく、「人」はただただ「人」であると考えさせられる。



奥 結香さん

Yuika Oku

愛知県出身大分市在住。アラサーレズビアン。大分市の特別支援学校で教員を務めた後、青年海外協力隊としてマレーシアへ。東日本震災時にはボランティアで福祉避難所や重度自閉症児童の支援に関わる。昨年帰国し、現在は虹色おいた代表やLGBTサポートチーム「ココカラ」のサポートメンバーとして、LGBTも障がい者も様々な人が隔たりなく生きがいを感じられる社会を目指し活動中。

### 好きになったのは女友達

中学一年生のある日、女友達の顔を見ていたら不思議な気持ちになりました。もしかしてこれが「好き」ってこと？親の都合で引越しをすることになり、その子と離ればもうこの気持ちも終わるんだとほっとしていました。なのに次に好きになった人も女の子。自分は普通じゃないと悩み始めたのがこの頃からです。

### 女性との最初のお付き合いは高校時代

お付き合いした方の中に「バイセクシャル(男性も女性も好きになれる)」の女性がいました。彼女は男性も好きになれる、将来家庭をもつこともできる。それならばそのほうが幸せに違いないと思ってお別れをしました。その経験がショックで、私だって男性を好きになれるかもしれない、まだあきらめないでおこう。そして、もう女性と付き合わない決めました。

### 男性を好きになる努力

専門学校時代は男性とお付き合いすることもあり、男性が好きということで生きていました。ただ一線を越えることは無理でした。それから、男性を好きになるために数々の荒行を行いました。都町で働いてみたり、お見合いパーティーに参加してみたり…(笑)

### 勇気をだして扉をあけた

何をしても、やっぱり気になるのは女性。悩みを話せる人が欲しくて、SNSに思い切って書

き込んでみたら同じ悩みをもつ人と繋がることができました。そしてLGBTの方が集まる会に参加できたのが22歳の時。それがきっかけで世界がぐんと広がったんです。ひとりじゃない、これでいいんだと初めて思うことができました。

### 間違った情報

LGBT書籍の中で「男性が嫌いでレズビアンになるわけではない」と書いてたりするんですが、それは違います。男性不信から、心安らぐのが女性だけになったという方もいらっしゃいます。もちろん生まれた時から同性が好き！と堂々と言う友達もいますし、結婚した後に気が付いたという方もいます。本当に人それぞれバラバラ。気が付く年齢や理由なども人によって様々です。

### レズビアンは肩書き？

「レズビアン」というのはひとりの人間の「一部分」にすぎないんです。算数が好き、国語が好き、と同列で女性が好きってだけなんです。「レズビアン」の奥結香といった「肩書き」になることにははじめは少し抵抗がありました。でも相手に悪気はないことも分かっています。少数派というのはそういうことだと思います。

### 母と分かり合えない10年間

16歳の時に付き合った彼女が、なぜか私の母に手紙を書いてばれてしまった事がはじまりです(苦笑) 始めの頃は、その言葉を出すたびに喧嘩になって言い合いをしていました。ある日に「逃げることは簡単だけど、目の前のことから逃げずにどうしたら相手が納得するかを考えなきゃ社会に何も伝えることができない」と言われたことが心に響いて、まずは母に理解してもらおうことから逃げないと決めました。そして諦めずに色々な方法で母に理解を求めました。母の幸せのセオリーは結婚して子どもを産んで家庭を築くことなんです。それができない我が子が不憫で、理解しがたかったんだと思います。この10年間がお互いにとって一番つらかったと思います。

### 世間へのカミングアウトは大分合同新聞

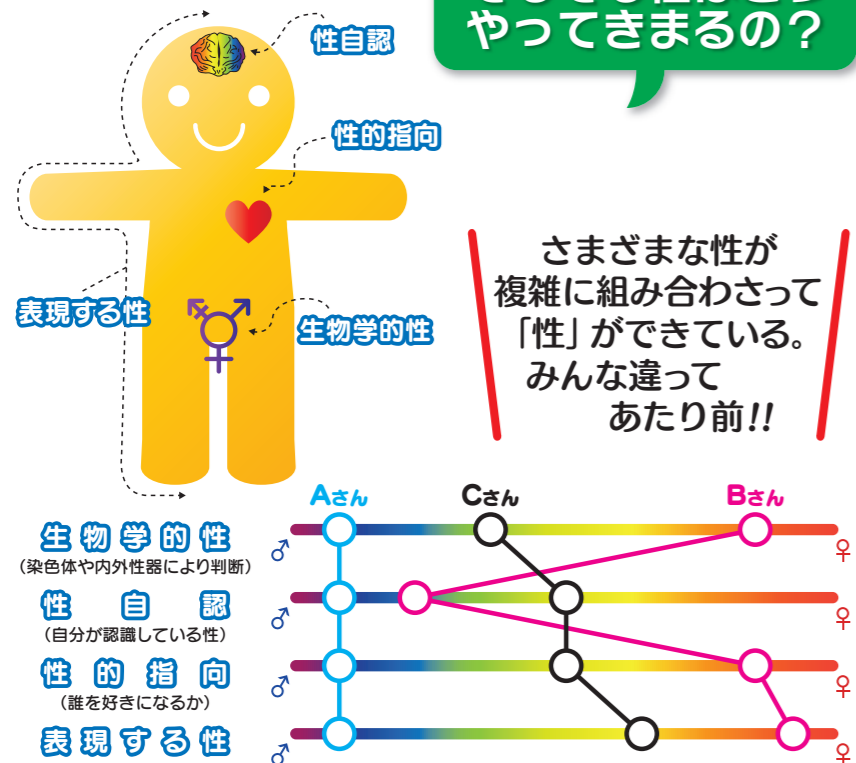
今から3年前、新聞インタビューの話をもらいました。私としては、大分県では性的少数者への理解が遅れていると感じていたので、これを機会にと考えていました。ただ新聞に出て名前も出るということは、少なからず母に影響があるので事前に母に相談しました。そのとき母は、「あなたにマイナスにならなければいいよ」と言ってくれたんです。その時が本当に理解し合えた時だと思います。とても嬉しかったですね。

奥 結香さんを講師にむかえセミナーを開催します! 日時・2017年11月25日(土)13:30~ 講演・当事者が話す!性的少数者と呼ばれる人のコト

セミナーに関する詳細は当センターまで



## そもそも性は どう やってきまるの?



## LGBTって何?

同性が好きの人や自分の性に違和感を覚える人々のことを性的少数者という。

近年は頭文字をとって

### 「LGBT」とも

言われている。



- L レズビアン (女性の同性愛)
- G ゲイ (男性の同性愛)
- B バイセクシャル (両性愛)
- T トランスジェンダー (性同一性障害 (医学名))

### 日本のLGBTの割合は 7.6%

- LGBT = 13人に1人
- 左利き = 11人に1人
- A B型 = 10人に1人

※2015電通ダイバーシティラボ調べより

私の周りには左利きもA B型もいるけどLGBTの人はいないのはなぜだろう…?

ただしLGBT以外の性も存在しています。

- I インターセックス (身体的に男女の区別がつかない)
- A アセクシュアル (無性愛者。同性も異性も好きにならない)
- Q クエスチョニング (自分の性別や性的指向に確信がもてない)
- 他

## 性的少数者はこんなことで悩んでいます

- 小さい頃は女の子だからとピンクを強要される
- 制服や規則による髪型
- 学校のトイレや、プールの時間の水着や着替え
- 好きになる人の性が周りの友達と違う
- 体の成長や変化と心が一致しない
- 結婚制度による壁
- 就職先での偏見
- 将来への不安

## まとめ

多数でないことや理解できないことを「普通ではない」「おかしい」「特別」「疾患」などと思うことが偏見を生みます。そして偏見が差別を生むのです。一人ひとりの「違い」を認め合うこと、それは「性」に限らず、国籍や年齢、働き方などすべてにおいて、**多様性を認めることができる社会が求められています。** そのためには「自分の中の正解」が本当に正しいのか、「自分は間違ってるのかもしれない」と考える余裕と慎重さを持つことが大事です。



## 男女共同参画推進団体の紹介

### おおいたおやじネットワーク

私たちの会は、子どもたちの安全と健全な心と体を育むことを目的とし、地域の子もたちと共に遊び、学び、知恵を出し、汗をかき、そしてその活動の輪を広げていくための「おやじの会の情報交換ネットワーク」です。そのため組織的でなく“ゆるやかな”ネットワークで、活動は自発的、決して強制される事はありません。おやじの会に関わっている方なら、または興味や関心がある方ならどなたでも参加できますし、女性もいますよ。

毎年秋に開催する「大分おやじ座談会」の企画運営を中心に、おやじのスキルアップ研修や全国おやじサミット等の他地域との交流、情報交換も盛んに行っています。(もちろん“おやじ”らしく飲み会懇親会もたまに)

おやじ(父親)の会で活発な活動をしているところ、活動が上手くいかずに困っているところ、これから会を立ち上げようとしている方は、このネットワークに参加し、いろいろな情報交換をしませんか?



ドメスティック・バイオレンス

## DVとは?

「配偶者や親密な関係にあるパートナーからの暴力」のことをいいます。DVは犯罪です。

### 被害者に与える影響

ケガなどの身体的な影響の他、精神的な影響を受けることもあります。

### DVを見て育つ子どもに与える影響

様々な心身の症状が表れることがあります。また、自分が育った環境での人間関係のパターンから、暴力を感情表現や問題解決の手段と学習することもあります。

DVは、原則ご本人が相談しなければ周りは動けません。もしかしてこれってDV?と感じたり、被害を受けている方はひとりで抱え込まずに相談してください。

● 各部署が状況による適切な支援を行います。例) 自立支援のための援助、カウンセリング、加害者に対し接近禁止命令、一時保護など

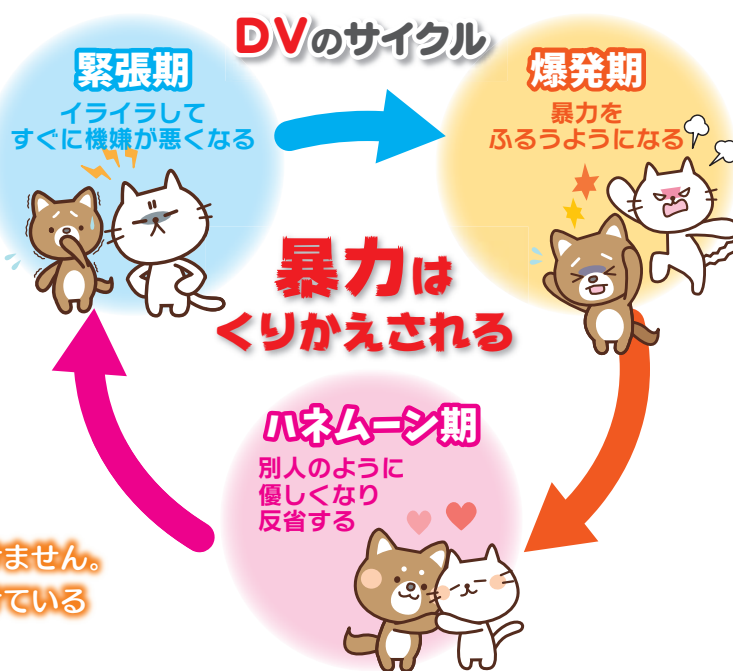
大分市中央子ども家庭支援センター ▶ TEL:097-537-5666 (月~金/8:30~18:00)

大分県配偶者暴力相談支援センター(婦人相談所) ▶ TEL:097-544-3900 (月~金/9:00~21:00・土日祝/13:00~17:00, 18:00~21:00)

大分県配偶者暴力相談支援センター(アイネス) ▶ TEL:097-534-8874 (月~金/9:00~16:30)

警察安全相談(大分県警察本部広報課) ▶ TEL:097-534-9110 (24時間対応) TEL:097-537-4107 (月~金/9:30~17:45)

女性の人権ホットライン(大分地方方法務局内) ▶ TEL:0570-070-810 (月~金/8:30~17:15)



## ご相談情報

### ● 女性のためのなんでも相談

専用電話 TEL.097-574-5578

火・木曜日/午後2時~午後8時 月・金・土曜日/午前10時~午後4時  
※祝日・休館日を除く

### ● 心の整理を目的とした傾聴相談(面接)

毎週水曜日/午前10時~正午 午後1時~午後3時 ※要予約(当日可)  
※傾聴相談では、悩みごとを解決するのではなく、前向きな気持ちになれるよう心の整理のお手伝いをします。 予約電話 TEL.097-574-5577

## センターからのお知らせ

### ● 講演会とセミナー

著名人を招いての講演会や年間24回さまざまなテーマでセミナーを開催しています。情報希望の方はQRコードまたは、下記メールアドレスに「情報希望」と明記し送信してください。



E-mail: danjokyodo@lime.ocn.ne.jp

## 大分市男女共同参画センター

〒870-0021 大分市府内町1丁目5番38号(コンパルホール2階)  
TEL.097-574-5577 FAX.097-537-3666

◎開館時間/午前9時~午後10時(事務室・交流スペース) 午前9時~午後5時(火・木 午前9時~午後9時) 会議室) 午前9時~午後10時

◎休館日/第2月曜日(※国民の休日と重なった場合はその日以降の休日でない日)・年末年始(12月28日~1月3日)

E-mail danjokyodo@city.oita.oita.jp

URL http://www.facebook.com/OitaDanjo



大分市男女共同参画センター

検索